

研究に関するお知らせとご協力をお願い

2022年 1月 12日

横浜医療センター呼吸器外科では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究名

『原発性肺癌における術前の炎症性マーカーと麻酔・鎮痛方法による術後再発への影響』

■研究責任者および研究分担者

研究責任者 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 呼吸器外科
渡部克也（医師）

研究分担者 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 呼吸器外科
増田晴彦（医師）

■研究の対象となる方

2010年4月1日から2020年12月31日までに、当院呼吸器外科において手術を施行した原発性肺癌の患者さん。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

術前に測定する炎症性マーカーや術中の麻酔・鎮痛方法が、術後再発にどのように影響しているかを調べることで、術後再発の早期発見や早期治療に役立つかかどうかを検討します。

研究の期間

2022年 倫理審査委員会承認日 ～ 2022年 12月 31日

研究の方法

下記の臨床情報を診療録より取得します。

- ①臨床所見（年齢、性別、身長、体重）
- ②血液所見（末梢血液像、白血球分画、CRP、血清アルブミン）
- ③手術所見（手術日、術式）
- ④麻酔方法（ガス麻酔、完全静脈麻酔、硬膜外麻酔）
- ⑤鎮痛薬（点滴、内服薬の種類と使用期間）
- ⑥病理学的所見（組織診断、病理分類）
- ⑦予後（再発・死亡の有無、再発日）

※新規または追加の検査や投薬は行いません

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、連結可能匿名化して解析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

医学に関する学会等にて発表し、最終的に学術論文化いたします。

その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

■お問い合わせ先（平日 9:00 ～ 17:15 にご連絡ください）

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 呼吸器外科

医師・研究責任者 渡部克也

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 電話 045(851)2621（代表）